

函館学2017 申込書 FAX: 0138-44-4333

ご住所	6/3	6/17	7/8	
お名前・ふりがな			10/28	
電話番号	9/30	10/21	1部	2部

受講希望日を○で囲んでください。なお、10/28は1部(10:30～12:00)または2部(13:30～15:00)のどちらかのみを受講となりますので、どちらかを○で囲んでください。

ご記入していただいた個人情報は、「函館学」に関するご連絡および施設入館に関する手続きにのみ使用します。

きりとり

函館学とは

キャンパス・コンソーシアム函館では、加盟機関がもつ知的資源を地域住民に知ってもらうとともに高等教育機関を身近に感じてもらうことを目的に合同公開講座「函館学」を実施しています。「函館学」では地元「函館」をキーワードに加盟機関の教職員が講義を行っています。

6月3日(土) 函館の中のロシアの大学の分校 (1994年～) イリイン・ロマン 会場：函館市民会館小ホール

函館市とウラジオストク市の姉妹都市提携を契機に、1994年ロシアの国立総合大学の分校として開校した函館校は、教育機関であり、かつ函館市におけるロシア交流の拠点として、地域の国際化の一翼を担っています。講義では、函館校と地域の様々な結びつきに触れると共に、2010年に連邦総合大学に昇格し、新キャンパスに移転したウラジオストク本学についても紹介します。

9月30日(土) プロジェクションマッピングで蘇る歴史空間 迎山 和司 会場：公立はこだて未来大学

プロジェクションマッピングとは、プロジェクタを用いて建物など立体物の形に沿って映像を投影して、錯覚効果で形を歪ませたり色を変えたりする表現手法です。この手法を利用すると、改変することのできない歴史文化財の当時の姿を再現することが出来ます。この講義では「旧函館区公会堂」「旧函館博物館2号」「箱館奉行所」などの事例を紹介しながらこの価値と効果についてお話しします。

6月17日(土) 地域ブランドとして“函館”を売るために ～本学アジアマーケティング研修会の取り組み～ 角田 美知江 会場：函館大学

函館は観光都市であり、食と観光資源に恵まれているといわれていますが、人口減少による人材不足、食資源の枯渇など厳しい状態に置かれていることも事実です。函館がこの先生き延びるための対策として、本学が行ったアジアマーケティング研修会での調査を事例に、中小規模企業の国際化の可能性についてお話しします。

10月21日(土) 新幹線時代の青函交流 ～観光まちづくりに向けた取り組み～ 奥平 理 会場：函館工業高等専門学校

私は本校公開講座や函館市人材育成事業で観光ボランティアガイドの育成事業に携わり、NHKプラタモリに案内人として出演した経験を持ちますが、活発な青函交流が観光まちづくりに必要不可欠と思う一人でもあります。本日は観光まちづくりへの取り組みを青函交流のみならず、道内諸地域との連携可能性も含めてご紹介します。

7月8日(土) 海の街・函館 海辺のいきものはじめ 石原 千晶 会場：北海道大学水産学部

夏になり、釣りや海水浴など、海に行かれる機会も多くなるのではないのでしょうか。函館には素敵な海辺がたくさんあります。海辺の小さいいきものにも目を向けて、彼らの暮らしを覗いてみませんか。

10月28日(土) 1部10:30～12:00 2部13:30～15:00 みんなで函館の宝をあつめよう！～鳥編～ 三上 修 会場：はこだてみらい館

函館には、似たような鳥でも実は種類が違う鳥、季節によって見られる鳥、見られない鳥など、知っているようで知らない鳥のコトがたくさんあります。しかし一方で、暮らしの中でみなさんしか知らない鳥のコトもたくさんあるのではないのでしょうか。ワークショップ形式で行うこの講座で、おなじみの鳥博士・三上修先生の専門的な知識とみなさんの力を結集した「はこだて鳥マップ(仮称)」を作ってみませんか。

キャンパス・コンソーシアム函館

■加盟機関：公立はこだて未来大学、函館大谷短期大学、函館工業高等専門学校、函館大学、函館短期大学、北海道教育大学函館校、北海道大学大学院水産科学研究院・水産科学院・水産学部、ロシア極東連邦総合大学函館校、函館市

■事務局：〒040-8567北海道函館市八幡町1-2 北海道教育大学函館校内

Tel 0138-44-4211 Fax 0138-44-4333 E-mail hakodategaku@cc-hakodate.jp Web <http://www.cc-hakodate.jp>